標準施工要領書

【2.8E シリーズ／樹脂シートフローリング】

TOKYO KOEI CO.,LTD.

2306

標準施工要領書
【2.8E シリーズ／樹脂シートフローリング】

施工前の準備

施工前の注意点

・製品の樹種、数量に間違いがないか確認をお願いします。
・製品に瑕疵がないか確認してください。
・開梱してから長時間放置すると反りが発生する可能性があります。
　開梱したらなるべく速やかに施工してください。
・反りの原因となるため立てかけて保管しないでください。
　必ず平置き（寝かせて保管）にするようにしてください。

使用する接着剤

〇推奨接着剤：ルビロン 101　～ウレタン系 1 液　溶剤タイプ～　（トーヨーポリマー㈱）　同等品
※臭気（溶剤臭）の発生が問題となる現場では超低臭タイプの「ルピロンマイスター」をご使用ください。
※ピールアップボンドは使用できません。

下地の確認

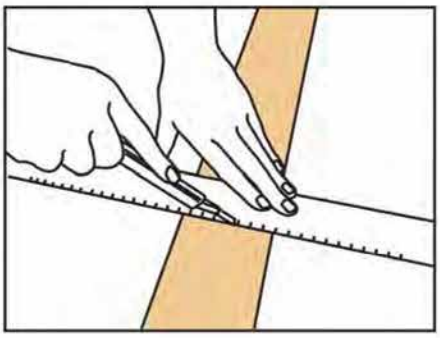
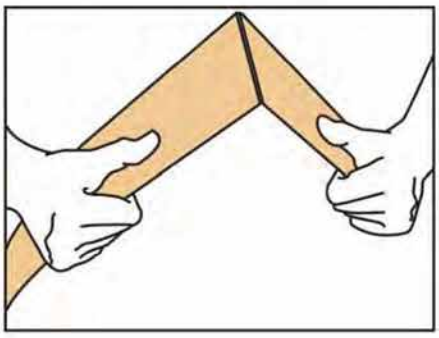
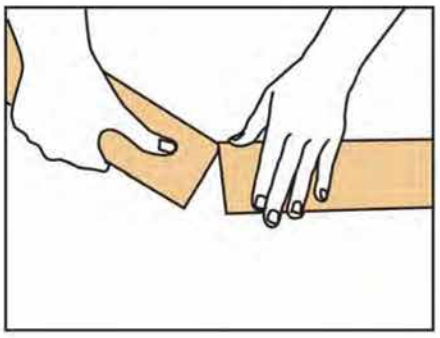
施工可能な下地：モルタル、合板、フローリング材への直貼など

・モルタル下地の場合、十分に乾燥していることを確認してください。
　打設後、夏場は 3 週間程度、冬場は 4 週間程度の乾燥期間をとり、モルタルの含水率が 10%以下であることを確認してください。不陸（1m あたり 3mm 以上）がある場合は、セルフレベリング材を使用してください。
・合板やフローリング材等の木製の下地の場合、濡れていないことを確認し、含水率が 12%以下であることを確認してください。
・フローリング材に直接施工する場合、劣化が激しい場合や使用されている塗装やワックスにより接着できない可能性があります。また、オイル塗装仕上げの塗装面は接着しない可能性があります。そのため、目立たない場所で接着のテストをお願いします。

施工の手順

・表面は天然木を使用しています。施工の前に仮並べをして色合いのバランスを確認してください。
　またその際に製品瑕疵がないかの確認を行ってください。

・カットはカッターで行うことができます。
　まず表面側に定規などをあて、床材の厚みの 1/5 程度の深さに軽くカッターでキズをいれた後、再度深めに 2, 3 回キズをなぞります。裏側に向かって折り曲げ、裏からその折り目に沿って軽くカッターを入れることで簡単にカットすることができます。

・接着剤は、設定されているオープンタイム（待機時間）と貼付可能時間、塗布量を守って使用してください。
・また、季節（温度）により上記の時間は変動しますので注意してください。

＜参考＞オープンタイム・貼付可能時間

ルビロン 101（標準塗布量：350g/ ㎡程度）

	オープンタイム	貼付可能時間 (オープンタイム後)
夏(25～35℃)	10分	40分
春・秋(15～25℃)	15分	45分
冬(5～15℃)	20分(冬タイプ)	50分(冬タイプ)

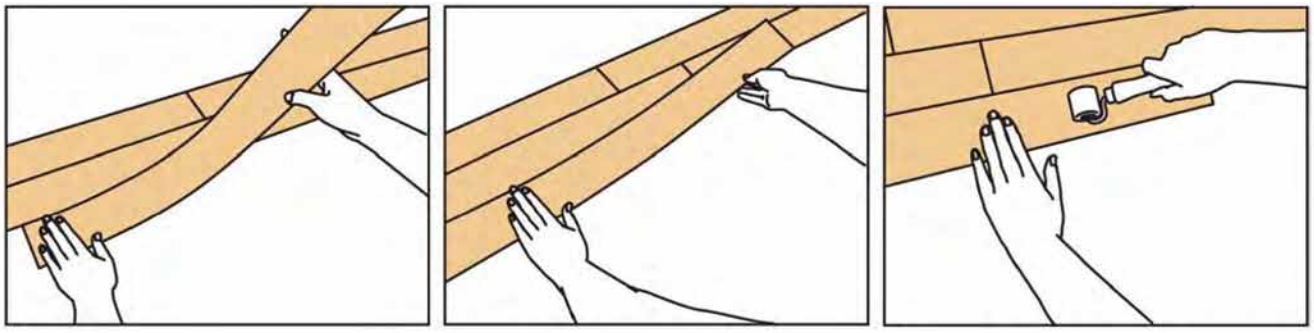
ルビロンマイスター

	オープンタイム	貼付可能時間 (オープンタイム後)
夏(25～35℃)	15分	20分
春・秋(15～25℃)	20分 15分(冬タイプ)	20分 20分(冬タイプ)
冬(5～15℃)	25分(冬タイプ)	25分(冬タイプ)

※下地の種類や状態、気温や湿度、通風等により変わります。(モルタル下地を基準としています。)

・貼り合わせはハンドローラー等で十分に押さえてください。
製品は、乾燥時に収縮により端部の反り上がりを防止するため、通常少し下反り気味に作られています。
そのため、接着剤面に軽く置くだけの場合、製品の中央部分の裏面に十分な接着剤が塗布されず、中央が浮いた状態になってしまう可能性があります。
接着の際、下図のように製品の端部から床面に押し当て、上に反らしながら長手方向に徐々に貼り合わせてください。裏面全面が床面に密着するように貼り進めてください。裏面全面が接着剤の上に設置した後に、中央部分を圧着用ハンドローラー等で十分に押さえてください。

端から反らせるようにして押し当て　中央を押さえながら貼り進める　ハンドローラーで圧着させる



・製品は温度差による若干の伸縮があります。
貼り合わせの際に製品同士を密着させすぎないように注意してください。
・製品寸法よりも狭いスペースに無理やりはめこまないようにしてください。
・長手にカットして施工する場合、幅は 30mm以上を確保してください。これよりも幅を小さくして使用すると接着しづらくなる可能性があります。特に部屋の壁際の施工の際など注意してください。

床暖房への対応

・床暖房機器の上に直接施工することはできません。床暖房機器の上に施工する場合は、厚み 12mm 以上の捨貼合板の上に施工してください。
・床暖房対応のフローリング材の上に直接施工することが可能です。前述の通り、既存フローリング材の劣化状況や塗装などにより接着できない場合があります。目立たない場所で接着のテストをお願いします。

施工後

・表面に天然木を使用しており、水分の使用には注意が必要です。
・清掃は掃除機や乾拭きで行ってください。水拭きをする際は固く絞った雑巾を使用してください。
・美観維持、また表面をキズや汚れから保護するため、高濃度樹脂ワックスを使用することができます。

株式会社 東京工営　〒112-0014東京都文京区関口1-24-8 東宝江戸川橋ビル9階
TEL.03-5225-4080　FAX.03-5225-4081